

事務事業評価表(既存事業)

コード 6-5-4	事務事業名 生活保護事業(支給)	所管部課 保健福祉部生活福祉課					
事務事業の概要	事務事業の目的 生活保護法に基づき、生活に困窮する者に対し適正な保護を行う。	総合計画上の位置づけ (政策)笑顔で暮らすまちづくり (施策)社会保障制度の運営 (主要施策)生活保護の適正な実施					
	実施内容、実施方法 生活保護法に基づき、生活保護費を支給する。	根拠法令等 生活保護法					
	事業開始時期 合併前から	実施形態 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()					
評価指標の設定	活動指標名 生活保護受給世帯	活動指標の考え方(定義) 西東京市で生活保護を受給している世帯					
	成果指標名 生活保護費	成果指標の考え方(定義) 西東京市が生活保護を受けている世帯に支払った金額					
事務事業データ		単位	14年度	15年度	16年度	17年度	
	事業費(A)		2,918,795	3,290,065	3,418,120	3,490,000	
	国庫支出金		1,898,915	2,402,549	2,627,314	2,626,000	
	都支出金	千円	84,615	96,450	117,128	100,340	
	地方債						
	その他						
	一般財源		935,265	791,066	673,678	763,660	
	所要人員(B)	人	1.80	1.80	1.80	1.80	
	人件費(C)=平均給与×(B)	千円	14,843	14,891	14,990	14,990	
	総コスト(D)=(A)+(C)	千円	2,933,638	3,304,956	3,433,110	3,504,990	
	単位当たりコスト (E)=(D)/(生活保護受給世帯)	千円	2,529	2,600	2,653		
	歳入	千円					
	活動指標	目標値 実績値	世帯 世帯	1,160 1,160	1,271 1,271	1,271 1,294	1,294
	活動指標	目標値 実績値					
成果指標	目標値 実績値	千円 千円	2,944,354 2,944,354	3,311,409 3,311,409	3,490,000 3,434,832	3,490,000	
成果指標	目標値 実績値						
事業環境	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)						
	国・都・他市・民間等 における類似事業		生活保護法に基づく国の事業として、全国で実施されている。				
	運営上の制約条件・ 外部要因等						

コード 6-5-4	事務事業名 生活保護事業(支給)	所管部課 保健福祉部生活福祉課
--------------	---------------------	--------------------

事業所管部評価	項目	評価結果	判断理由、説明等
	実績	<input type="checkbox"/> 極めて良好 <input checked="" type="checkbox"/> 良好 <input type="checkbox"/> 不十分 <input type="checkbox"/> 極めて不十分	申請に基づき、適正に審査し、適正に保護費を支給している。
	必要性	<input type="checkbox"/> 増大 <input checked="" type="checkbox"/> 変化なし <input type="checkbox"/> 減少、一部なし <input type="checkbox"/> かなり減少	法律に基づき実施しているため、必要である。
	効率性	<input type="checkbox"/> 大きく改善 <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	電算処理をし、効率よく執行している。
	公平性	<input type="checkbox"/> より充実 <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし <input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 抜本的な問題あり	法律に基づき適正かつ公平に実施している。
	総合評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止	継続実施の必要あり。

17年度における改善点	
-------------	--

行革本部評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 廃止・休止	
--------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--

評価の視点

- 実績：十分な成果をあげているか。必要以上のサービスにより、経費が過大となっていないか。など
- 必要性：国・都・民間での実施状況に鑑み、市が実施すべき事業といえるか。社会経済状況の変化を踏まえて実施しているか。廃止した場合に大きなデメリットは生じるか。など
- 効率性：限られた財源を有効に活用しているか。現在の実施方法が最も効率的な方法といえるか。など
- 公平性：サービス対象に問題はないか。利用者の利便性に配慮しているか。受益者負担の水準は妥当か。など
- 総合評価：各項目の評価及び類似団体等とのサービス水準の比較を踏まえた、今後の事業のあり方・方向性。
 - 拡充：ニーズの増大に対応して、事業を更に強化する必要があるもの。
 - 継続実施：現状水準で事業を継続していくもの。給付対象者の自然増減に伴いコストが増減する場合を含む。
 - 改善・見直し：現在の仕組みを前提としつつ、実施方法の見直しなどにより改善を図るべきもの。
 - 抜本的見直し：事業の委託化や一部廃止など、事業の仕組みを含めた根本的な見直しが必要なもの。
 - 廃止・休止：事業を休止又は廃止するもの。単年度事業など、終了が確定しているものを含む。